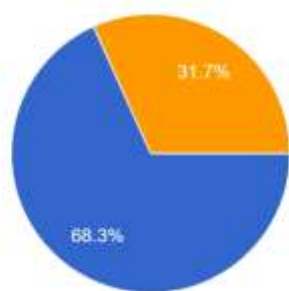


令和5年度

全事研岡山支部第1回研修会 アンケート結果（抜粋）

総合評価
63件の回答



● 良かった
● 悪かった
● 参加しなかった

参加者	73人
参加者回答数（率）	43人（59%）

<行政説明>

- 事務職員の年齢別の人数のグラフを見て、これから主任や主幹になる事務職員がスキルアップしていくことがいかに重要であるかを感じ、責任をもって仕事に臨んでいこうと改めて思いました。
- 人材育成基本方針について、わかりやすい説明だった。特に30代後半から40代前半の方々においては、今後の事務長・幹事としての心構えなど、早い段階で意識をもっておいて欲しいと思った。そのためには、今現在の事務長が、その姿勢（背中）を見せておかなければならず、自分自身それが十分ではないことの気づきの機会になった。
- キャリアステージごとに求められることが違いますが、それが明確化され、より意識して業務に取り組むことができると思った。ただ日々の業務をこなし、年数を重ねるのではなく、今後は自身のキャリアステージを意識しながら仕事をしようと思います。
- 定例業務は職位に関係なく全うすることが求められるという言葉に改めて業務の責任の重さを自覚しました。また、学校の小さな課題に気が付いていてもそれを的確に表現することができずもやもやしていましたが、教職員・管理職と連携することで課題を洗いだせるかもしれないと思いました。その連携する能力を身に付けられれば、少しは求められる役割を果たせることができるかもしれないと思いました。
- 人材育成方針を読んで、個々の能力の向上がどのステージでも常に必要だと思いました。そのためには個々で勉強したり研修を受けたりして能力向上を図らなければならない。だが自ら学び向上し続ける姿勢を持つことは難しい。学校事務職員として、学び続けることを決意させるほどの「目標(ミッション)」が必要であり、自分がその目標に対して何ができるか何をするか何をしたいか、そしてそれをすることのやりがいは何なのか、明確なビジョンを持つことも必要であると感じた。モチベーションがないと学びが始まらない。

- 「人材育成基本方針」書類を読むだけでは理解できていなかったことが、研修を受けたことで、内容を深く理解することができました。特に、キャリアステージ図の説明の際に「定型業務は、職位によって角度をつけるものではない」の発言が印象に残っています。学校事務職員としての基礎業務がきちんと遂行された上での、学校運営業務・人材育成だと改めて強く感じ、事務主事1級の私はまず、定型業務の遂行を確実にを行うことを第一優先にしようと思いました。
- 「人材育成基本方針は事務職員・管理職に向けて策定」ということでしたので、管理職に向けてのアピールと、それでは管理職は具体的に何をすべきかということをしかりと周知していただけるとありがたいなあと感じました。
- もう少し踏み込んだ内容が聞きたかった。
- 事務職員として何を身に付けて、どう成長したらいいか、そして自分がいまどの辺りにいるか、目に見える形でお示し下さったので、資質向上について道に迷うことが少なくなりました。しかし、改善の余地もいくらかありそうなので（参事にある「コスト意識」を主事2級辺りへ、初任者指導体制についてより具体化等）、更なる検討も必要だと思いました。他県の育成方針もいくらかあるみたいなので、参考になるかもしれません。

<令和4年度中央研修報告>

- たくさんの資料をもとに研修内容を共有してくださってありがとうございます。校長とともに事務職員にも学校改善することが求められると言われましたが、果たして校長は事務に学校改善することを求めているのかな？と感じることが多かったのですが、逆に、求められるような事務職員になればいいのだなと考えなおしました。まだまだ教員と対等に議論できるには程遠く、10年目までの経験値でその後の関わる業務にも変化があると知り、何でも経験してみようと思いました。
- 研修内容が「マネジメント」ばかりで、今後はマネジメントスキルをつけていかなければならないと感じた。学校経営参画行動に影響を及ぼす要素という調査結果が気になり、教育法規をあまり勉強していないままだったなと反省しながら聞いていました。
- 言われたことをやる「従事する」から、財務・施設・管財等だけでなく、学校運営や教育、危機管理、働き方改革等についても、チーム学校の一員として自覚を持ち、より声を積極的に出していく「司る」になることが今後求められていることを再認識しました。また、事務職員は全体が見える位置におり、なおかつ様々な情報も入ってきますので、組織を活性化させる重要な役割を担っていると思いました。だからこそ、事務職員の組織への関わり方について議論が活発に行われているんだなと思いました。しかし、経験の浅い間は、まだまだプロとしての自覚も薄く、楽をしたい気持ちを抱いてしまいがちであることも最近感じております。組織の中での動き方について等、今後事務を「司る」ことを前提とした初任者研修を計画していくことも重要だと思いました（私もプロとしての心構えを伝えられるようにがんばります）。

- 全国的な流れが分かりました。事務職員が理解すべき範囲がとても広がっていると感じました。全ては無理かもしれませんが、一部の要素だけでも取り入れられたらと思いました。
- マネジメントに関するたくさんの研修を受けられていて、とても興味深い内容でしたが、説明していただく時間が圧倒的に足りておらず、概要をサラッと流す程度なのがあったと思います。

<グループ協議>

- 他市の業務について教えてもらったり、共通業務でも、進め方が違ったりして、勉強になった。今後、自己目標シートを作成する際、「倫理」「知識技術」等項目に当てはめながら具体的な手立てを考えていきたい。
- 話が詰まることなく有意義な場でした。テーマの関係で自分たちの分類した結果の偏りが気になりました。全体を見て回っても、特に副参事クラスで県などの欄に付箋がなかったことが気になります。
- 近いキャリアステージの事務職員の方と協議できたのが良かったです。1人職ゆえに考え方が一本道になってしまいがちですが、様々な意見を聞くことができたので、とても良い刺激になりました。
- 難しく感じる場面もありましたが、事前のワークシートの準備や自己目標からの視点も示してくださっていたので、考えやすかったです。付箋を書くタイミングもグループで工夫したので良いワークが出来ました。
- 手立ての付箋を視野別に置いたときにほとんど一か所にかたまってしまったため、もっと広い視点で考えていく必要があると感じました。他のグループのシートも見れて参考になりました。
- 協議については、全員がまんべんなく発言も出来て、それぞれの思いを共有することが出来ていた。人材育成基本方針との結びつきを考えることで、方針と実務が同じ方向を向いていることを再認識もできたと思う。最後の他の班をめぐること、自分の班になかったことに気付いたり、職階によっても異なることを目の当たりにできたりしたのではないかと思います。
- それぞれの経験年数で内容や視野、協働の広がりがかわり、それを共有でき、とてもよい研修だったと思います。やはり、会って話す、共有するのに、参集型は有意義だったと思います。
- 人材育成基本方針についての行政説明の後、このような活動ができたので、一具体的な活用方法として勉強になりました。自分の目標について分析する良い機会になりました。そして、今後の戦略を立てるのに、考えを整理する機会にもなりました。職位が上になるほど、付箋の位置も変化していたのが印象的でした。久しぶりに本格的に対面できて、楽しかったです。

- 毎年、自己目標シートを作成するのに苦労している。今回のグループ協議ではそれぞれの自己目標シートを元に作業シートを作成したので、ほかの事務職員の自己目標シートを拝見することができ、とても参考になりました。また、グループで話をすると自分が気づかなかった視点から助言をいただけることもあり、とても勉強になりました。
- 同じくらいの経験年数の方とのグループ協議をする機会は久しぶりだったため、共感し合えることや自校でやってみたいこと、今まで経験したことなど、様々な話ができて有意義な時間であった。協議中に話をした手立ての中には学校でいかせそうなアドバイスもあり、「やってみよう」というやる気ももらった。個人作業シートにも付箋にも記入する必要がある、少し慌ただしい印象ではあった。
- 学校規模の差がいい意味でも悪い意味でも出ていた。内容自体は理解できて勉強になるが、共感しにくい部分でまごついてしまった。
- 協議の大枠や自己目標シートを用いることは良かったが、自他ともに協議を掘り下げることができず、単なる意見交換で終わった（共感はできたがどのように深めて良いか不明）。また時間配分に見直す余地があると思う（①自己目標シートを持参したので最初の記入時間は1分で十分、残りの時間で付箋を記入した。②協議の時間に比重を置いてよいと思う）
- 日々の一連の業務を校内・学区・共同実施などに分割して考えるのはとても難しいと感じました。
- グループワークがとても良かった。今度は人材育成について、若い人の意見や考えも直接聞いてみたい。付箋を貼ったシートを見て回ったが話す機会があればお互い良いのではないか？

<その他>

- 県下全体の研修組織なので、今回のように、会員みんなが顔を合わせて交流できる研修形態の機会も継続して欲しい。
- 今後の研修計画の参考にされるのに率直な感想が必要なら、「地区・学校名・氏名」の入力を必須にするべきではないと思います。
- 座席を事前に決めていてもよかったかな、と思いました。役職每ではありましたが、違うところに座られている方や、ほとんど人がいないテーブルもあったので。
- 受付名簿について、手間のかからない範囲で、不要な情報が掲載されていないものにしてはどうか。
- 集まりをよくするためには、邪道かもしれませんが、有名人を呼んだらいいのでは。場所もたまには他の設定をしてみてもいいのでは。